

うさぎぐみだより

きらら保育園 令和8年3月1日発行

寒さの中にも、少しずつ暖かい日差しが感じられるようになったこの頃。今年度も残りわずかとなりました。この一年で大きく成長した子どもたちの姿を、嬉しく、そして頼もしく感じています。

うさぎ組はいつも子どもたちの笑顔と元気な声であふれています。自分でしたい遊びを「先生、今日はね、〇〇したいの」としっかりお話をしてくれ、楽しんでいます。うさぎ組での残りの日々を毎日楽しく過ごしてほしいと思っています。

保育園に鬼がやってきたよ

節分に自分で作ったお面をして豆入れに豆を詰め、パネルの鬼に「鬼は外～」と豆まきをしました。自分の中の泣き虫鬼や怒りんぼ鬼などをやっつけていると、本物の鬼が登場！びっくりしてしまいましたが、頑張って鬼に向かって豆を投げ、その後、鬼とゲームやタッチをして、ふれあいました。



雪だるまの制作をしたよ

雪だるまの制作をしました。最初に水色の色画用紙に雪だるまを貼り、目のシールを貼って、口を描きました。帽子をかぶせて、手を付け出来上がり。「お外で雪だるまつくりたいな～」と会話ははずんでいましたよ！



ひな人形の制作をしたよ！

最初に折り紙をちぎって画用紙に貼り着物にし、その後顔や梅などの模様を描き、冠、えぼしなどを貼って、吊るし雛にしてお部屋に飾りました。



ぼくたちブロックで
竿燈作り



クラスの様子

バス、出発しま～す！



パズルに夢中♪

